

## 市民ニーズ調査について

※実施については、9月補正予算案の議決が条件となります。

### 1. 実施の目的

- 子ども・子育て支援事業計画策定のための基礎資料とする
  - 特に子ども・子育て支援法及び基本指針による
    - ・教育・保育事業
    - ・地域型保育事業
    - ・地域子ども・子育て支援事業
- の量の見込みの算出のための基礎資料とする

### 2. 実施の概要

#### (1) 対象・件数（予定）

就学前の子どものいる世帯	0～2歳	2,250件
	3～5歳	2,250件
小学生の子どものいる世帯		2,500件

#### (2) 実施・結果報告までの流れ（予定）

8月23日（金）	第2回会議	市川市素案の提示、説明
10月10日（木）	第3回会議	審議
11月上中旬		調査票発送
11月末		調査票回収
2月上旬	第5回会議	量の見込みに関する中間報告
3月下旬	第6回会議	量の見込みに関する最終報告

### 3. 素案作成にあたっての考え方

- 「量の見込み」の数値を正確に算出することが最優先
- 国が「量の見込みの推計上必要な項目」として指定した項目については削除はしない
- 国の調査票ひな形は項目数が多すぎる。回収率の低下や不正確な回答を避けるため、できる限り項目数を減らす方向で考える
  - ・量に見込みの推計上必要
    - ・今後の施策の検討や市民の傾向の把握のため特に必要な項目に絞り、国調査票ひな形から項目削除し、追加項目は最小限にする
- 国の調査票ひな形は、全て就学前児童のいる世帯を対象とし、放課後保育クラブについては5歳以上の子のいる世帯のみ利用希望を回答するようにしているが、より正確に放課後保育クラブのニーズ等を把握するため、小学生のいる世帯用の調査も行う。

# 調査票案

## （就学前の子どもがいる世帯用）

○「量の見込みの推計上必要な項目」として国が指定した設問については、設問番号に下線

○調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定

## 回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

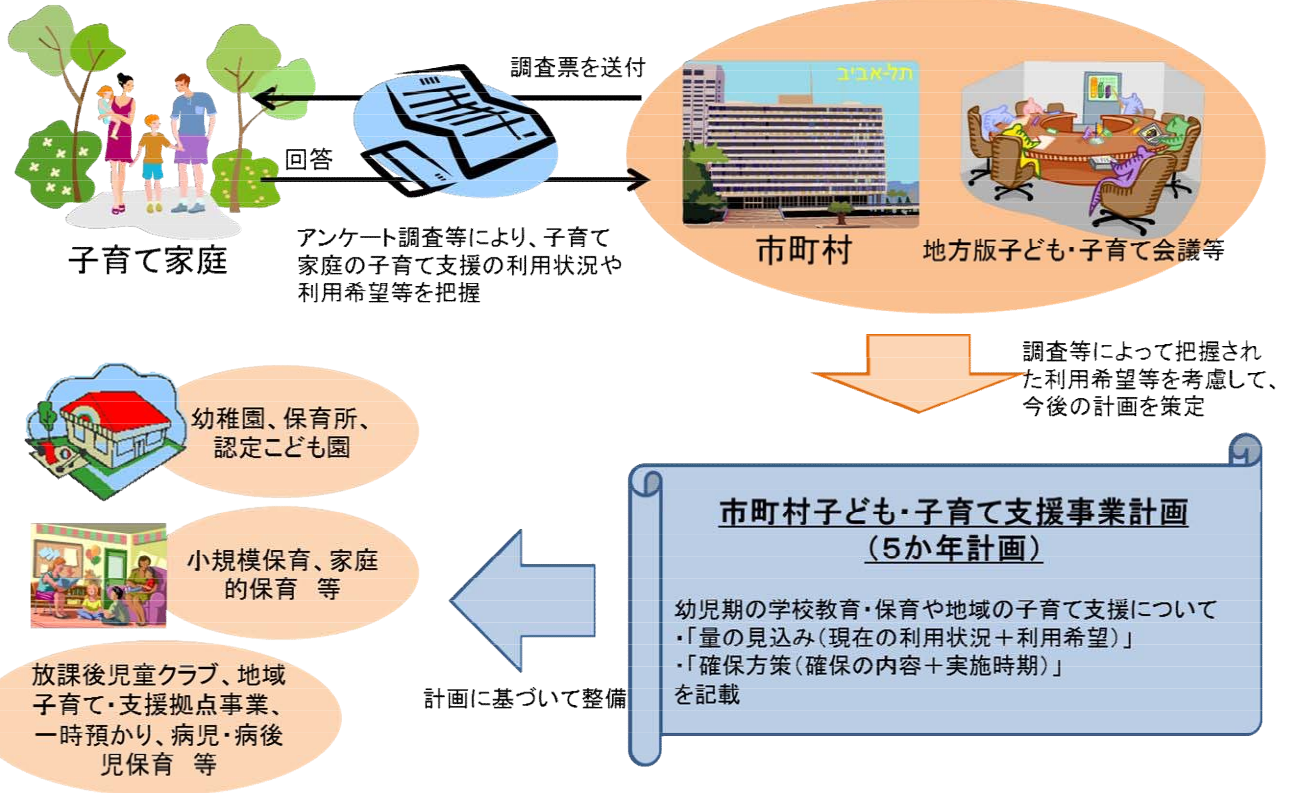
なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問13までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問14以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1	大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
2	宮久保地区	宮久保3～6丁目、北方町4丁目、東菅野4・5丁目、下貝塚
3	曽谷地区	曽谷、宮久保1～2丁目、国分1丁目、東国分、稲越町
4	国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分2～7丁目
5	市川地区	真間、市川、須和田2丁目
6	八幡地区	菅野、平田1・2丁目、須和田1丁目、八幡3丁目、東菅野1～3丁目
7	中山地区	八幡1・2・4～6丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
8	市川南地区	新田、市川南、平田3・4丁目、大洲、大和田
9	南八幡地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻1・2丁目
10	信篤地区	田尻3～5丁目、田尻(1～5丁目以外)、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜、上妙典
11	妙典地区	妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、富浜、塩焼、宝1丁目、幸1丁目、加藤新田、高浜町、河原
12	行徳地区	伊勢宿、未広、宝2丁目、幸2丁目、押切、行徳駅前、入船、日之出、湊、湊新田、湊新田1・2丁目、香取、福栄2丁目、千鳥町、新浜、塩浜1～3丁目
13	南行徳地区	欠真間、相之川、福栄1・3・4丁目、南行徳、新井、広尾、島尻、塩浜4丁目

## 封筒の宛名のお子さん（※）とご家族の状況 についてうかがいます。

※以下、全ての設問について《「お子さん」＝宛名のお子さん》としてお答えください。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

平成 □□年 □□月生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 □人 末子の生年月月 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 お子さんの祖父母等の親族の居住についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族と同居している
2. 祖父母等の親族が市川市内に在住している
3. その他

問7 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問9-1へ                      2. いない／ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 1. 祖父母等の親族          | 2. 友人や知人                                       |
| 3. 近所の人             | 4. 子育て支援施設（親子つどいの広場、<br>地域子育て支援センター、こども館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター       | 6. 保育士   |
| 7. 幼稚園教諭            | 8. 民生委員・児童委員                                   |
| 9. かかりつけの医師         | 10. 自治体の子育て関連担当窓口                              |
| 11. その他（【例】ベビーシッター） |  |

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## お子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

**問 11** お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親・父親それぞれについて、下表の当てはまる欄に○をつけてください。

### 問 11～問 13 までの共通留意事項

- ・「フルタイム」：1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労
- 「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労としてお答えください。
- ・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

		母親	父親	
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない			母親または父親で○ ⇒ 問 11-1 へ
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である			
3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない			
4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である			
5	以前は就労していたが、現在は就労していない			母親・父親いずれも○ ⇒問13へ
6	これまで就労したことがない			

**問11-1** 問11で母親または父親で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。母親・父親のそれぞれについて、週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

	就労日数	就労時間	家を出る時刻	帰宅時刻
母親	週 □ 日	1日 □□時間	□□時	□□時
父親	週 □ 日	1日 □□時間	□□時	□□時

**問12** 問11で母親または父親で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。母親・父親それぞれについて、下表の当てはまる欄に○をつけてください。

	母親	父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある		
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない		
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望		
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい		



問13 問11で母親または父親で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問14へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり □日      1日当たり □□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり □日      1日当たり □□時間



問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり □日                      1日当たり □□時間（□□時～□□時）

(2) 希望（地域の教育・保育の環境、企業の両立支援環境などが十分充実している場合の希望を回答してください。「(1) 現在」と比べ多い・少ないいずれの回答でもかまいません。）

1週当たり □日                      1日当たり □□時間（□□時～□□時）

問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 市川市内                      2. 他の市区町村

問 14-4 問 14-1 で○をつけた教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

1. ほぼ毎日利用している
2. 週に数日利用している →1週あたり □ 日程度
3. 月に数日利用している →1月あたり □ 日程度
4. 利用していない

問 14-5 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母、親戚の人、父母の友人・知人等がみている
3. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない(市や施設等に申し込みをしている)
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない(市や施設等に申し込みをしていない)
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の利用要件(就労要件等)に当てはまらない
8. 子どもがまだ小さいため( 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他( )

問 15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、アンケート別紙のとおり一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた保育料が設定されています。

※各事業の内容の詳細については、アンケート別紙をご覧ください。

- |  |   |
|--|---|
| 1. 幼稚園(通常就園時間の利用)  | 2. 幼稚園+定期的な預かり保育<br>(預かり保育を週○日、1日当たり○時間以上利用の場合のみ) |
| 3. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県の認可を受けた定員20人以上のもの)     |   |
| 4. 認定こども園の幼稚園部分<br>(認定こども園:幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)           | 5. 認定こども園の保育施設部分                                  |
| 6. 小規模な保育施設<br>(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) | 7. 家庭的保育<br>(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)             |
| 8. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                        | 9. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)    |
| 10. その他の認可外保育施設<br>(週○日、1日当たり○時間以上利用)                    | 11. その他の認可外保育施設<br>(選択肢10の利用条件以外)                 |
| 12. 居宅訪問型保育<br>(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)            | 13. その他( )  |





**お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・  
保育事業の利用希望についてうかがいます。**

**問 20** お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	-------------------------

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	-------------------------

**問 21** 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	-----	-------------------------







**問 25** この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ. こどもショートステイ事業を利用した (児童養護施設で一定期間、子どもを保護する事業)	□□ 泊
	ウ. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用した	□□ 泊
	エ. イ、ウ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□ 泊
	オ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	カ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	キ. その他（ ）	□□ 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア、オ、カ」のいずれかを回答した方にかがいます。

⇒ア、オ、カ以外を選択した方は 問 25 へ

**問 25-1** 今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、この事業の利用には、「アンケート別紙」のとおり一定の利用者負担が発生します。

1. こどもショートステイ事業を利用したい  
(市川市で申請する場合には、松戸市内にある児童養護施設「晴香園」の利用となります)
2. ファミリー・サポート・センター事業を利用したい
3. 1、2以外の保育事業を利用したい
4. 利用したいとは思わない

**お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の  
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

**問 26** お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. こども館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後保育クラブ〔学童保育〕(※1)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
6. ピーイング(※2)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 「放課後保育クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、保育料(原則児童1人当たり月額8,000円)がかかります。

※2 「ピーイング」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

**問 27** お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. こども館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後保育クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
6. ピーイング	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

問 28 問 26 または問 27 で「5. 放課後保育クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

問 29 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後保育クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------



問 30-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる欄すべてに○をつけてください。

	母親	父親
希望する保育所に入るため		
配偶者や家族の希望があったため		
経済的な理由で早く復帰する必要があった		
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため		
その他 ( )		

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる欄すべてに○をつけてください。

	母親	父親
希望する保育所に入れなかったため		
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため		
配偶者や家族の希望があったため		
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため		
子どもをみてくれる人がいなかったため		
その他 ( )		

問 30-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-4 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる欄に○をつけてください。

	母親	父親
1歳になるまで育児休業を取得したい		
1歳になる前に復帰したい		

問 31 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

## 1. 定期的な教育・保育の各事業内容について（問 14-1、問 15 関連）

施設・事業名	内容
認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設、現在市川市内にはありません。
幼稚園（市川市においては、私立：3年保育、公立：2年保育）	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。
私立幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業です。問 14-1、問 15 の選択肢 2 においては、週〇日以上、1日当たり〇時間以上の定期的な利用のみに限定して用いています。
認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で都道府県の認可を受けた、保育を必要とする 0～5歳児に対して保育を行う施設です。
家庭的保育	市川市では「ファミリー・ママ制度」と呼んでいます。保育者の家庭等で子どもを保育する事業です。
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設です。問 15 においては従業員でなくても利用できるという想定で回答してください。
自治体の認証・認定保育施設	認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設であり、現在市川市内にはありません。
その他の認可外の保育施設	簡易保育園などの施設です。
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業です。
ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業
小規模な保育施設	平成 27 年 4 月から制度の開始が予定されている、国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人の保育施設です。現在はないため、問 15 のみ選択肢に入ります。

## 2. 利用者負担（保育料など）の概要（平成 25 年〇月現在）

※下記に記載するのは現行制度の下の利用者負担であり、平成 27 年度開始が予定されている「子ども・子育て支援制度」の制度設計により、変更となる場合があります。

※私立幼稚園・私立幼稚園の預かり保育・認可外保育施設など下記に記載しない事業については、事業者と利用者の自由契約によるため市は設定していません。

裏面に続く

(1) 市川市立幼稚園

月額 10,000 円ですが、保育料の他に教材費等の費用がかかります。

(2) 認可保育所

3 ページのとおり

(3) 家庭的保育

所得税課税世帯	月額 30,000 円
所得税非課税世帯	月額 15,000 円
生活保護世帯	月額 0 円

※延長保育費用、食費などは別途必要

(4) ファミリー・サポート・センター

区分	お礼の基準の額
月～金曜の午前 7 時～午後 8 時まで	500 円／1 時間
土日祭日及び年末年始並びに上記以外の時間	600 円／1 時間

(5) 一時預かり事業

	年齢	利用料金
利用料	3 歳未満児クラス	300 円／1 時間
	3 歳以上児クラス	200 円／1 時間
昼食料	300 円／1 回	

(6) こどもショートステイ事業（短期入所、夜間養護、休日養護）

区分	一般世帯	市民税非課税世帯
短期入所 2 歳未満	5,500 円	1,100 円
短期入所 2 歳以上	2,850 円	1,100 円
夜間養護	800 円	350 円
休日養護	1,400 円	350 円



# 平成24年度保育園保育料徴収額表

階層区分	在籍児童の属する世帯の階層区分		保育料徴収基準額(月額)(第1子)				第2子の保育料				第3子以降の保育料		国基準保育料(参考)	
	定 義	保育料徴収基準額(月額)	3歳未満児	3歳児	4歳以上児	3歳未満児(1子と3歳未満子)と3歳未満児(2子)	3歳児	4歳以上児(1子と3歳未満子)	3歳児	4歳以上児	3歳未満児	3歳以上児		
A	※この表中の「第1子」とは、保育園に在籍している児童のうち最も年齢の高い児童(同じ年齢の場合はそのうちの1人)、「第2子」とは、「第1子」の次に年齢の高い児童をいいます。在籍中の児童が世帯に1人だけの場合は、その児童が「第1子」となります。 生活保護法による被保護世帯(単給世帯を含む)及び、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支援給付世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
B	A階層を除く前年度分の市区町村民税及び所得税非課税世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
C	1 前年度分の市区町村民税均等割の額のみ課税されている世帯	7,800	6,600	6,600	6,600	3,900	3,900	3,900	3,300	3,300	3,300	19,500		
	2 前年度分の市区町村民税所得割6,500円未満の世帯	8,800	7,500	7,500	7,500	4,400	4,400	4,400	3,700	3,700	3,700	16,500		
	3 前年度分の市区町村民税所得割6,500円以上の世帯	9,800	8,300	8,300	8,300	4,900	4,900	4,900	4,100	4,100	4,100	30,000		
D	1 前年度の所得税の額 5,000円 未満	17,000	15,000	15,000	15,000	8,500	8,500	8,500	7,500	7,500	7,500	44,500		
	2 5,000円 ~ 10,000円 未満	19,500	17,500	17,000	17,000	9,750	9,750	9,750	8,750	8,750	8,750	30,000		
	3 10,000円 ~ 20,000円 未満	22,500	20,000	19,000	19,000	11,250	11,250	11,250	10,000	9,500	9,500	27,000		
	4 20,000円 ~ 30,000円 未満	25,000	21,500	20,000	20,000	12,500	12,500	12,500	10,750	10,000	10,000	41,500		
	5 30,000円 ~ 40,000円 未満	28,000	23,000	21,000	21,000	14,000	14,000	14,000	11,500	10,500	10,500	61,000		
	6 40,000円 ~ 60,000円 未満	33,000	27,000	23,000	23,000	16,500	16,500	16,500	13,500	11,500	11,500	58,000		
	7 60,000円 ~ 80,000円 未満	38,000	28,000	24,000	24,000	19,000	19,000	19,000	14,000	12,000	12,000	77,000		
	8 80,000円 ~ 103,000円 未満	41,000	29,000	25,000	25,000	20,500	20,500	20,500	14,500	12,500	12,500	104,000		
	9 103,000円 ~ 133,000円 未満	47,000	30,000	25,000	25,000	23,500	23,500	23,500	15,000	12,500	12,500	101,000		
	10 133,000円 ~ 163,000円 未満	50,000	30,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	15,000	12,500	12,500	80,000		
	11 163,000円 ~ 193,000円 未満	51,000	30,500	26,000	26,000	25,500	25,500	25,500	15,250	13,000	13,000	80,000		
12 193,000円 ~ 233,000円 未満	52,000	30,500	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	15,250	13,000	13,000	104,000			
13 233,000円 ~ 273,000円 未満	53,000	30,500	26,000	26,000	26,500	26,500	26,500	15,250	13,000	13,000	77,000			
14 273,000円 ~ 313,000円 未満	54,000	30,500	26,000	26,000	27,000	27,000	27,000	15,250	13,000	13,000	104,000			
15 313,000円 ~ 363,000円 未満	55,000	30,500	26,000	26,000	27,500	27,500	27,500	15,250	13,000	13,000	77,000			
16 363,000円 ~ 413,000円 未満	56,000	30,500	26,000	26,000	28,000	28,000	28,000	15,250	13,000	13,000	104,000			
17 413,000円 ~ 513,000円 未満	62,000	33,000	27,000	27,000	31,000	31,000	31,000	16,500	13,500	13,500	80,000			
18 513,000円 ~ 623,000円 未満	63,000	33,000	28,000	28,000	31,500	31,500	31,500	16,500	14,000	14,000	104,000			
19 623,000円 ~ 734,000円 未満	64,000	33,000	28,000	28,000	32,000	32,000	32,000	16,500	14,000	14,000	77,000			
20 734,000円 ~ 1,113,000円 未満	68,000	34,000	28,000	28,000	34,000	34,000	34,000	17,000	14,000	14,000	104,000			
21 1,113,000円 ~	70,000	34,000	28,000	28,000	35,000	35,000	35,000	17,000	14,000	14,000	80,000			

無  
※【注4】参照

【注1】この表の課税額を計算する場合には、平成22年度税制改正により廃止された年少扶養控除(扶養親族のうち、年齢16歳未満の者)及び年齢16歳以上19歳未満の者に対する扶養控除の上乗せ部分について、引き続き扶養控除があるものとして、税制改正前の控除額で再計算することにより算出した額を所得税額とみなします。(P. 2-4参照)

【注2】この表の課税額を計算する場合には、寄付金税額控除、配当控除、外国税控除及び住宅ローン控除、所得税額については、配当控除、外国税額控除、住宅ローン控除、電子申告控除及び外国税控除、住宅特定改修特別税額控除、認定長期優良住宅新築等特別税額控除(いずれも税額からの控除)の適用はありません。

【注3】2人以上の児童が保育園、幼稚園(特別支援学校幼稚部を含む)、認定こども園、知的障害児通園施設、肢体不自由児通園施設通所部、情緒障害児短期治療施設通所部、簡易保育園(補助金対象施設に限る)に通園・通所、または児童デイサービスを利用している就学前児童がいる場合、第2子の保育料は上記表の通りとなります。また、同一世帯から3歳未満児と3歳以上児の2人が入園している場合は第2子の保育料は※印(1)の通りとなります。

【注4】8人以上の児童が上記施設(簡易保育園を除く)に通園・通所している場合、第3子以降の保育料は無料となります。

【注5】市川市独自の第3子以降の保育料の支援制度については別紙「多子世帯への支援制度」についてを参照してください。(P. 25参照)

【注6】上記保育料表の年齢区分は、平成24年4月2日時点の満年齢となり、年度中に変更はありません。

# 調査票案

## (小学生の子どもがいる世帯用)

○「量の見込みの推計上必要な項目」として国が指定した設問については、設問番号に下線

○調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定

## 回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

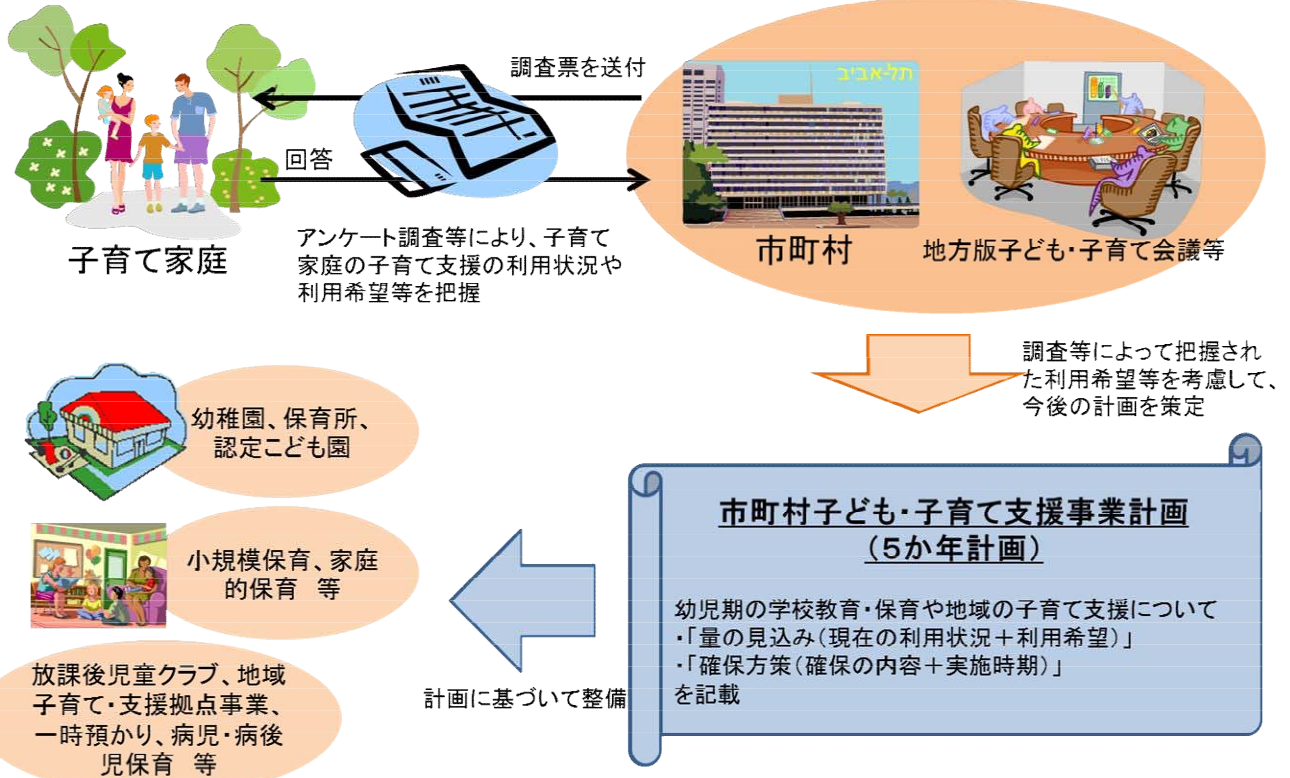
なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



### (用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問13までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問14以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

## お住まいの地域についてうかがいます。

**問1** お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1	大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
2	宮久保地区	宮久保3～6丁目、北方町4丁目、東菅野4・5丁目、下貝塚
3	曾谷地区	曾谷、宮久保1～2丁目、国分1丁目、東国分、稲越町
4	国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分2～7丁目
5	市川地区	真間、市川、須和田2丁目
6	八幡地区	菅野、平田1・2丁目、須和田1丁目、八幡3丁目、東菅野1～3丁目
7	中山地区	八幡1・2・4～6丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
8	市川南地区	新田、市川南、平田3・4丁目、大洲、大和田
9	南八幡地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻1・2丁目
10	信篤地区	田尻3～5丁目、田尻（1～5丁目以外）、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜、上妙典
11	妙典地区	妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、富浜、塩焼、宝1丁目、幸1丁目、加藤新田、高浜町、河原
12	行徳地区	伊勢宿、未広、宝2丁目、幸2丁目、押切、行徳駅前、入船、日之出、湊、湊新田、湊新田1・2丁目、香取、福栄2丁目、千鳥町、新浜、塩浜1～3丁目
13	南行徳地区	欠真間、相之川、福栄1・3・4丁目、南行徳、新井、広尾、島尻、塩浜4丁目



## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問9-1へ                      2. いない／ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 1. 祖父母等の親族  | 2. 友人や知人              |
| 3. 近所の人     | 4. 子育て支援施設（こども館等）・NPO |
| 5. 学校の先生    | 6. 民生委員・児童委員          |
| 7. かかりつけの医師 | 8. 自治体の子育て関連担当窓口      |
| 9. その他      |                       |

【例】ベビーシッター

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## お子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

**問 11** お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親・父親それぞれについて、下表の当てはまる欄に○をつけてください。

### 問 11～問 13 までの共通留意事項

- ・「フルタイム」：1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労
- 「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労としてお答えください。
- ・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

		母親	父親	
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない			母親または父親で○ ⇒ 問 11-1 へ
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である			
3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない			
4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である			
5	以前は就労していたが、現在は就労していない			母親・父親いずれも○ ⇒問13へ
6	これまで就労したことがない			

**問11-1** 問11で母親または父親で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。母親・父親のそれぞれについて、週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

	就労日数	就労時間	家を出る時刻	帰宅時刻
母親	週 □ 日	1日 □□時間	□□時	□□時
父親	週 □ 日	1日 □□時間	□□時	□□時

**問12** 問11で母親または父親で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。母親・父親それぞれについて、下表の当てはまる欄に○をつけてください。

	母親	父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある		
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない		
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望		
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい		



問13 問11で母親または父親で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問14へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり □日      1日当たり □□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり □日      1日当たり □□時間







## お子さんの放課後の過ごし方 についてうかがいます。

**問 18** お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせていますか。「A欄（現在の状況）」のそれぞれの内容ごとに週当たり日数を数字でご記入ください。また、希望する日数が現在の状況と異なる場合には、「B欄（希望）」のそれぞれの内容ごとに週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ（学童保育）」の場合には、時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	A欄（現在の状況）	B欄（希望） ※現在の状況と異なる場合のみ記入
自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
こども館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
放課後保育クラブ（学童保育）（※1）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ↓ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 まで	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ↓ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 まで
ビーイング（※2）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 「放課後保育クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、保育料（原則児童1人当たり月額8,000円）がかかります。

※2 「ビーイング」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問19 問18の「A欄（現在の状況）」または「B欄（希望）」で「放課後保育クラブ（学童保育）」に日数を記入いただいた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 利用したい → 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 利用する必要はない

（2）日曜・祝日

1. 利用したい → 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 利用する必要はない

問20 問18の「A欄（現在の状況）」または「B欄（希望）」で「放課後保育クラブ（学童保育）」に日数を記入いただいた方にうかがいます。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 利用したい → 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
2. 利用する必要はない

問21 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

# **国の調査票のひな形 (平成25年8月6日時点)**

- 調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定

(注) 施設・事業の名称についてそれぞれの地域で親しまれている名称とするなど、回答者にとって分かりやすい名称に変更することも可能。

### 回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

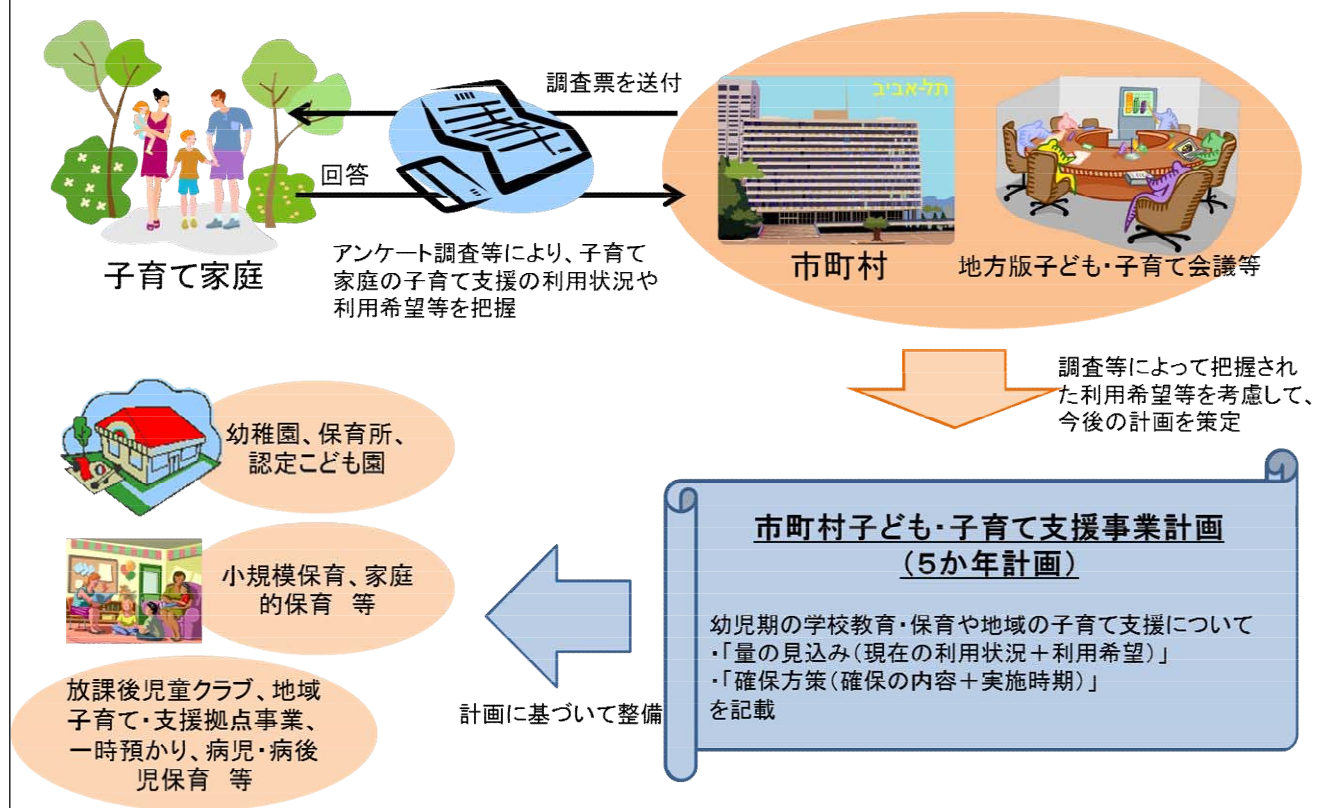
なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。



いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設  
（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. ○○ | 2. ○○ | 3. ○○ |
| 4. ○○ | 5. ○○ | 6. ○○ |

## 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

平成 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 □人 末子の生年月月 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |           |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他( ) |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |         |         |          |           |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他( ) |
|----------|---------|---------|----------|-----------|





## 宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

**(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。**

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	}	
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない		
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ (1) -1へ
6. これまで就労したことがない		⇒ (2)へ

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり □日	1日当たり □□時間
----------	------------

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

家を出る時刻 □□時	帰宅時刻 □□時
------------	----------

**(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。**

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	}	
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない		
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ (2) -1へ
6. これまで就労したことがない		⇒ 問14へ

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
  2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
  3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- |  |  |  |
|--|--|--|
|  | ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)<br>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)                                       |  |
|  | →1週当たり <input type="checkbox"/> 日 1日当たり <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 |  |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
  2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
  3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- |  |  |  |
|--|--|--|
|  | ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)<br>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)                                       |  |
|  | →1週当たり <input type="checkbox"/> 日 1日当たり <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 |  |

## 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ |
|----------------------|-----------------------|

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 幼稚園<br>(通常の就園時間の利用)                         | 2. 幼稚園の預かり保育<br>(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)  | 4. 認定こども園<br>(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)              |
| 5. 家庭的保育<br>(育者の家庭等で子どもを保育する事業)                | 6. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)              |
| 7. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) | 8. その他の認可外の保育施設                                |
| 9. 居宅訪問型保育<br>(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)   | 10. ファミリー・サポート・センター<br>(地域住民が子どもを預かる事業)        |
| 11. その他 (            )                         |  |

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、□内に具体的な数字でご記入ください (数字は一枠に一字)。時間は、必ず (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり □日	1 日当たり □□時間 ( □□時～ □□時)	
-----------	-------------------------	--

(2) 希望

1 週当たり □日	1 日当たり □□時間 ( □□時～ □□時)	
-----------	-------------------------	--

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内

2. 他の市区町村

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため

2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している

3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である

4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している

5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある

6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である

7. その他（

）

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている

4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）

9. その他（

）



問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（自治体における料金設定を示す）

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ( )

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

## 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

- |  |
|--|
| <p>1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）<br/>1 週当たり <input type="checkbox"/>回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/>回程度</p> <p>2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></span>）<br/>1 週当たり <input type="checkbox"/>回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/>回程度</p> <p>3. 利用していない</p> |
|--|

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（自治体における料金設定を示す）

- |  |
|--|
| <p>1. 利用していないが、今後利用したい<br/>1 週当たり <input type="checkbox"/>回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/>回程度</p> <p>2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい<br/>1 週当たり 更に <input type="checkbox"/>回 もしくは 1ヶ月当たり 更に <input type="checkbox"/>回程度</p> <p>3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない</p> |
|--|

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
②保健センターの情報・相談事業	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
③家庭教育に関する学級・講座	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
④教育相談センター・教育相談室	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑥子育ての総合相談窓口	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
○○○○○	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
○○○○○	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な  
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	-------------------------

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	-------------------------

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	-----	-------------------------

問 21-1 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	







問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）                  |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）                |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ）  |

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- |          |              |             |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の  
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館 ※	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答



問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------



問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- |                    |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である     |
| 3. 育児休業中に離職した      |

(2) 父親

- |                    |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である     |
| 3. 育児休業中に離職した      |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヶ月	希望	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヶ月	希望	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヶ月
---------	---	----	---

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヶ月
---

(2) 父親

<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヶ月
---

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため       | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )            |                         |

②父親

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため       | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )            |                         |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

②父親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |

(2) 父親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |



問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

調査項目の比較

国の調査票ひな形			市の調査票案			
調査項目	「量の見込みの推計上必要な項目」	問番号	就学前児童のいる世帯	問番号	小学生のいる世帯	問番号
1. 居住地域について			1. 居住地域について		1. 居住地域について	
居住地区	○	1	居住地区	1	居住地区	1
2. 子どもと家族の状況について			2. 子どもと家族の状況について		2. 子どもと家族の状況について	
子どもの生年月日	○	2	子どもの生年月日	2	子どもの生年月日	2
兄弟数・末子の年齢		3	兄弟数・末子の年齢	3	兄弟数・末子の年齢	3
回答者の属性	○	4	回答者の属性	4	回答者の属性	4
回答者の配偶者の有無	○	5	回答者の配偶者の有無	5	回答者の配偶者の有無	5
			祖父母等の親族の居住状況(核家族かどうか)	6	祖父母等の親族の居住状況(核家族かどうか)	6
子育てを主におこなっている人	○	6	子育てを主におこなっている人	7	子育てを主におこなっている人	7
3. 子育て環境について			3. 子育て環境について		3. 子育て環境について	
子育てに日常的に関わっている人・施設		7				
子育てにもっとも影響する環境		8				
子どもを預かってもらえる親族や知人の有無		9	子どもを預かってもらえる親族や知人の有無	8	子どもを預かってもらえる親族や知人の有無	8
子どもを預かってもらうことに対する意識(親族に対して)		9-1				
子どもを預かってもらうことに対する意識(友人・知人に対して)		9-2				
相談相手の有無		10	相談相手の有無	9	相談相手の有無	9
相談相手		10-1	相談相手	9-1	相談相手	9-1
周囲からの支援の希望内容(自由記載)		11	周囲からの支援の希望内容(自由記載)	10	周囲からの支援の希望内容(自由記載)	10
4. 保護者(母・父)の就労状況について			4. 保護者(母・父)の就労状況について		4. 保護者(母・父)の就労状況について	
就労状況	○	12	就労状況	11	就労状況	11
就労日数・時間、出発時間・帰宅時間		12-1,2	就労日数・時間、出発時間・帰宅時間	11-1	就労日数・時間、出発時間・帰宅時間	11-1
パートタイム等からフルタイムへの転換希望	○	13	パートタイム等からフルタイムへの転換希望	12	パートタイム等からフルタイムへの転換希望	12
就労していない状況からの就労希望、その形態	○	14	就労していない状況からの就労希望、その形態	13	就労していない状況からの就労希望、その形態	13
5. 定期的な教育・保育事業の利用について			5. 定期的な教育・保育事業の利用について			
事業の利用の有無	○	15	事業の利用の有無	14		
利用している事業	○	15-1	利用している事業	14-1		
現在の利用状況、今後の利用希望(日数・時間数)	○	15-2	現在の利用状況、今後の利用希望(日数・時間数)	14-2		
利用している事業の実施場所		15-3	利用している事業の実施場所	14-3		
事業を利用している理由		15-4				
事業を利用していない理由		15-5	教育・保育事業の前後・争議のためのファミサポの利用状況	14-4		
今後の利用を希望する事業	○	16	事業を利用していない理由	14-5		
			今後の利用を希望する事業	15		
事業の実施場所の希望		16-1	希望する事業を利用できない理由	15-1		
			事業の実施場所の希望	15-2		
			居住地区以外での事業実施を希望する理由	15-3		
			教育・保育事業の前後・争議のためのファミサポの利用希望	15-4		
			利用者支援事業に関する利用希望	16		
6. 相談・情報提供等に関する子育て支援事業の利用について			6. 相談・情報提供等に関する子育て支援事業の利用について			
地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況	○	17	地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況	17		
地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	○	18	地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	18		
他事業の認知度、利用の有無、今後の利用希望		19	他事業の認知度、利用の有無、今後の利用希望	19		
7. 土日祝日、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について			7. 土日祝日、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について			
土日祝日の事業の利用希望	○	20	土日祝日の事業の利用希望	20		
前問について「月に1〜2回は利用したい」理由		20-1				
長期休暇中の事業の利用希望(幼稚園に通う子のみ)	○	21	長期休暇中の事業の利用希望(幼稚園に通う子のみ)	21		
前問について「週に数日利用したい」理由		21-1				
8. 子どもの病気の際の対応について			8. 子どもの病気の際の対応について		5. 子どもの病気の際の対応について	
子どもの病気で教育・保育事業を利用できなかったことの有無	○	22	子どもの病気で教育・保育事業を利用できなかったことの有無	22	子どもの病気で教育・保育事業を利用できなかったことの有無	14
事業を利用できなかった際の対処方法・日数	○	22-1	事業を利用できなかった際の対処方法・日数	22-1	事業を利用できなかった際の対処方法・日数	14-1
病児・病後児保育事業の利用希望の有無・日数	○	22-2	病児・病後児保育事業の利用希望の有無・日数	22-2	病児・病後児保育事業の利用希望の有無・日数	14-2
希望する病児・病後児保育事業の形態		22-3	希望する病児・病後児保育事業の形態	22-3		
病児・病後児保育事業の利用を希望しない理由		22-4				
父母のいずれかが仕事を休んで見たかったか		22-5				
休んで看ることが難しい理由		22-6				
9. 不定期な教育・保育事業の利用について			9. 不定期な教育・保育事業の利用について		6. 不定期な教育・保育事業の利用について	
利用している事業・日数	○	23	利用している事業・日数	23	利用している事業・日数	15
利用していない理由		23-1				
目的別利用希望日数	○	24	目的別利用希望日数	24	目的別利用希望日数	16
希望する事業形態		24-1	希望する事業形態	24-1	希望する事業形態	16-1
宿泊を伴う一時預かりの対処方法別日数	○	25	宿泊を伴う一時預かりの対処方法別日数	25	宿泊を伴う一時預かりの対処方法別日数	17
親族・知人に預かってもらうことの困難度		25-1	子どもショートステイの利用希望	25-1	子どもショートステイの利用希望	17-1
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について(国の案では5歳児家庭に送付)			10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について(国の案では5歳児家庭に送付)		10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について(国の案では5歳児家庭に送付)	
小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望	○	26	小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望	26	放課後の過ごし方の希望	18
小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望	○	27	小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望	27	↑に統合(回答者により高学年・低学年をクロス集計)	
土日祝日の事業の利用希望		28	土日祝日の事業の利用希望	28	土日祝日の事業の利用希望	19
長期休暇中の事業の利用希望		29	長期休暇中の事業の利用希望	29	長期休暇中の事業の利用希望	20
11. 職場の両立支援制度について			11. 職場の両立支援制度について			
育児休業の取得の有無、取得しない理由		30	育児休業の取得の有無、取得しない理由	30		
育児休業給付・保険料免除の認知度		30-1				
育児休業後の職場復帰の有無		30-2	育児休業後の職場復帰の有無	30-1		
職場復帰のタイミング(年度はじめかどうか)		30-3				
職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望		30-4	職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望	30-2		
3歳まで育児休業をとれる想定での職場復帰時期の希望		30-5				
職場復帰時期が希望と異なる理由		30-6	職場復帰時期が希望と異なる理由	30-3		
短時間勤務制度の利用の有無		30-7				
短時間勤務制度を利用しなかった理由		30-8	保育環境が整っている想定での1歳までの育児休業取得の希望	30-4		
保育環境が整っている想定での1歳までの育児休業取得の希望		30-9				
自由意見		31	自由意見	31	自由意見	21
計		61問	計	51問	計	27問

問番号	設問概要	「量の見込み」を算出する事業
	1. 居住地域について	
1	居住地区	
	2. 子どもと家族の状況について	
2	子どもの生年月日	
3	兄弟数・末子の年齢	
4	回答者の属性	
5	回答者の配偶者の有無	
6	祖父母等の親族の居住状況(核家族かどうか)	
7	子育てを主におこなっている人	
	3. 子育て環境について	
8	子どもを預かってもらえる親族や知人の有無	
9	相談相手の有無	
9-1	相談相手	
10	周囲からの支援の希望内容(自由記載)	
	4. 保護者(母・父)の就労状況について	
11	就労状況	教育・保育施設、地域型保育事業
11-1	就労日数・時間、出発時間・帰宅時間	
12	パートタイム等からフルタイムへの転換希望	教育・保育施設、地域型保育事業
13	就労していない状況からの就労希望、その形態	
	5. 定期的な教育・保育事業の利用について	
14	事業の利用の有無	教育・保育施設、地域型保育事業
14-1	利用している事業	
14-2	現在の利用状況、今後の利用希望(日数・時間数)	教育・保育施設、地域型保育事業 延長保育事業
14-3	利用している事業の実施場所	教育・保育施設、地域型保育事業
14-4	教育・保育事業の前後・送迎のためのファミサポの利用状況	ファミリー・サポート・センター事業
14-5	事業を利用していない理由	
15	今後の利用を希望する事業	教育・保育施設、地域型保育事業
15-1	希望する事業を利用できていない理由	
15-2	事業の実施場所の希望	
15-3	居住地区以外での事業実施を希望する理由	
15-4	教育・保育事業の前後・送迎のためのファミサポの利用希望	ファミリー・サポート・センター事業
16	利用者支援事業に関する利用希望	利用者支援
	6. 相談・情報提供等に関する子育て支援事業の利用について	
17	地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況	地域子育て支援拠点事業
18	地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	
19	他事業の認知度、利用の有無、今後の利用希望	
	7. 土日祝日、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	
20	土日祝日の事業の利用希望	
21	長期休暇中の事業の利用希望(幼稚園に通う子のみ)	
	8. 子どもの病気の際の対応について	
22	子どもの病気で教育・保育事業を利用できなかったことの有無	
22-1	事業を利用できなかった際の対処方法・日数	病児保育事業
22-2	病児・病後児保育事業の利用希望の有無・日数	
22-3	希望する病児・病後児保育事業の形態	
	9. 不定期な教育・保育事業の利用について	
23	利用している事業・日数	一時預かり事業(幼稚園の預かり保育を含む)
24	目的別利用希望日数	ファミリー・サポート・センター事業
24-1	希望する事業形態	子育て短期支援事業
25	宿泊を伴う一時預かりの対処方法別日数	子育て短期支援事業
25-1	こどもショートステイの利用希望	ファミリー・サポート・センター事業
	10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について(国の案では5歳児家庭に送付)	
26	小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望	放課後保育クラブ
27	小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望	
28	土日祝日の事業の利用希望	
29	長期休暇中の事業の利用希望	
	11. 職場の両立支援制度について	
30	育児休業の取得の有無、取得しない理由	
30-1	育児休業後の職場復帰の有無	
30-2	職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望	
30-3	職場復帰時期が希望と異なる理由	
30-4	保育環境が整っている想定での1歳までの育児休業取得の希望	
31	12. 自由意見	



問番号	設問概要	「量の見込み」を算出する事業
	1. 居住地域について	
1	居住地区	
	2. 子どもと家族の状況について	
2	子どもの生年月日	
3	兄弟数・末子の年齢	
4	回答者の属性	
5	回答者の配偶者の有無	
6	祖父母等の親族の居住状況(核家族かどうか)	
7	子育てを主におこなっている人	
	3. 子育て環境について	
8	子どもを預かってもらえる親族や知人の有無	
9	相談相手の有無	
9-1	相談相手	
10	周囲からの支援の希望内容(自由記載)	
	4. 保護者(母・父)の就労状況について	
11	就労状況	教育・保育施設、地域型保育事業
11-1	就労日数・時間、出発時間・帰宅時間	
12	パートタイム等からフルタイムへの転換希望	教育・保育施設、地域型保育事業
13	就労していない状況からの就労希望、その形態	
	5. 定期的な教育・保育事業の利用について	
14	事業の利用の有無	教育・保育施設、地域型保育事業
14-1	利用している事業	
14-2	現在の利用状況、今後の利用希望(日数・時間数)	教育・保育施設、地域型保育事業 延長保育事業
14-3	利用している事業の実施場所	教育・保育施設、地域型保育事業
14-4	教育・保育事業の前後・送迎のためのファミサポの利用状況	ファミリー・サポート・センター事業
14-5	事業を利用していない理由	
15	今後の利用を希望する事業	教育・保育施設、地域型保育事業
15-1	希望する事業を利用できていない理由	
15-2	事業の実施場所の希望	
15-3	居住地区以外での事業実施を希望する理由	
15-4	教育・保育事業の前後・送迎のためのファミサポの利用希望	ファミリー・サポート・センター事業
16	利用者支援事業に関する利用希望	利用者支援
	6. 相談・情報提供等に関する子育て支援事業の利用について	
17	地域子育て支援拠点事業の現在の利用状況	地域子育て支援拠点事業
18	地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	
19	他事業の認知度、利用の有無、今後の利用希望	
	7. 土日祝日、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	
20	土日祝日の事業の利用希望	
21	長期休暇中の事業の利用希望(幼稚園に通う子のみ)	
	8. 子どもの病気の際の対応について	
22	子どもの病気で教育・保育事業を利用できなかったことの有無	
22-1	事業を利用できなかった際の対処方法・日数	病児保育事業
22-2	病児・病後児保育事業の利用希望の有無・日数	
22-3	希望する病児・病後児保育事業の形態	
	9. 不定期な教育・保育事業の利用について	
23	利用している事業・日数	一時預かり事業(幼稚園の預かり保育を含む)
24	目的別利用希望日数	ファミリー・サポート・センター事業
24-1	希望する事業形態	子育て短期支援事業
25	宿泊を伴う一時預かりの対処方法別日数	子育て短期支援事業
25-1	こどもショートステイの利用希望	ファミリー・サポート・センター事業
	10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について(国の案では5歳児家庭に送付)	
26	小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望	放課後保育クラブ
27	小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望	
28	土日祝日の事業の利用希望	
29	長期休暇中の事業の利用希望	
	11. 職場の両立支援制度について	
30	育児休業の取得の有無、取得しない理由	
30-1	育児休業後の職場復帰の有無	
30-2	職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望	
30-3	職場復帰時期が希望と異なる理由	
30-4	保育環境が整っている想定での1歳までの育児休業取得の希望	
31	12. 自由意見	